

【情報提供】琵琶湖でのアオコの発生について(第8号)

令和4年9月26日(月)9時30分頃、県琵琶湖保全再生課の職員が矢橋船溜および北山田漁港でアオコの発生を確認しました。県琵琶湖環境科学センターでプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでしたのでお知らせします。

琵琶湖におけるこれまでのアオコの発生状況は、滋賀県ホームページ「今日の琵琶湖」(<http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)をご覧ください。

記

アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(℃)	構成プランクトン (群体数/mL)
矢橋船溜 (草津市矢橋町)	9月26日 9時35分	10m×4m	4	25.2	ミクロステイス属 230 アナバナ属 3,900 アファニゾメノン属 25 オシマトリア属 40
北山田漁港 (草津市北山田漁港)	9月26日 9時56分	30m×2m	4	27.1	ミクロステイス属 5,800 アナバナ属 56,000 アファニゾメノン属 100 オシマトリア属 350

〈参考〉

レベル4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。

【写真】



矢橋船溜で確認されたアオコ

北山田漁港で確認されたアオコ